


# カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CI05-15012	1.7 製品写真 
1.2	製品名称 (日本語)	日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUC	
	製品名称 (英語)	Hitachi IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUC	
1.3	製品型式	MX-01 CCUC	
1.4	製品の主要仕様・諸元	回線容量 最大288 (回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。) ①局線 ・アナログ回線 最大192回線 ・INS64 最大96回線 ・INS1500 最大24回線 ・ひかり電話直取 最大12回線 ②内線 ・多機能電話機 最大192回線 ・一般電話機 最大192回線 ・PHS基地局 最大72回線	
1.5	CFP算定単位	販売単位 (台あたり)	
1.6	公開日	2015年7月10日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	株式会社 日立情報通信エンジニアリング
	事業者名 (英語)	Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd.
2.2	電話番号	050-3163-5812

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容																																			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	10 t-CO <sub>2</sub> e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)																																	
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)																																		
	原材料調達段階	2.0 t-CO <sub>2</sub> e																																	
	生産段階	0.14 t-CO <sub>2</sub> e																																	
	流通段階	0.029 t-CO <sub>2</sub> e																																	
	使用・維持管理段階	8.2 t-CO <sub>2</sub> e																																	
	廃棄・リサイクル段階	0.022 t-CO <sub>2</sub> e																																	
3.3	数値表示、追加情報の内容																																		
	数値表示	<table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;記載内容&gt;</th> <th>&lt;数値表示の単位&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.4</td> <td>kg-CO<sub>2</sub>e 1ポート・年あたり (機能あたり) のCO<sub>2</sub>排出量 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)</td> </tr> <tr> <td>自社比 -12%</td> <td>従来機種と比較した際の1ポート・年あたり (機能あたり) のCO<sub>2</sub>排出量の削減率 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)</td> </tr> </tbody> </table>	<記載内容>	<数値表示の単位>	7.4	kg-CO <sub>2</sub> e 1ポート・年あたり (機能あたり) のCO <sub>2</sub> 排出量 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)	自社比 -12%	従来機種と比較した際の1ポート・年あたり (機能あたり) のCO <sub>2</sub> 排出量の削減率 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)																											
		<記載内容>	<数値表示の単位>																																
7.4	kg-CO <sub>2</sub> e 1ポート・年あたり (機能あたり) のCO <sub>2</sub> 排出量 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)																																		
自社比 -12%	従来機種と比較した際の1ポート・年あたり (機能あたり) のCO <sub>2</sub> 排出量の削減率 (端数処理により左記の値は「3.1 CFP算定結果」と若干異なる場合があります)																																		
追加情報の記載内容	<p>従来機種&lt;MX900IP CCUC 登録番号CR-CI05-15011&gt;と比較した際の1ポート・年あたりのCO<sub>2</sub>排出量の削減率をCFPマークに記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【対象製品】</th> <th>【従来機種】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUC</td> <td>・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX900IP CCUC</td> </tr> <tr> <td>・型式 MX-01 CCUC</td> <td>・型式 MX900IP CCUC</td> </tr> <tr> <td>・CO<sub>2</sub>排出量</td> <td>・CO<sub>2</sub>排出量</td> </tr> <tr> <td>一製品あたり 10 t-CO<sub>2</sub>e</td> <td>一製品あたり 12 t-CO<sub>2</sub>e</td> </tr> <tr> <td>一1ポート・1年あたり*1 7.4 kg-CO<sub>2</sub>e/ポート・年</td> <td>一1ポート・1年あたり*1 8.4 kg-CO<sub>2</sub>e/ポート・年</td> </tr> <tr> <td>・主な製品仕様</td> <td>・主な製品仕様</td> </tr> <tr> <td>一接続ポート数</td> <td>一接続ポート数</td> </tr> <tr> <td>最大288(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)</td> <td>最大296(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)</td> </tr> <tr> <td>①局線 ・アナログ回線 最大192回線</td> <td>①局線 ・アナログ回線 最大192回線</td> </tr> <tr> <td>・INS64 最大96回線</td> <td>・INS64 最大96回線</td> </tr> <tr> <td>・INS1500 最大24回線</td> <td>・INS1500 最大12回線</td> </tr> <tr> <td>・ひかり電話直取 最大12回線</td> <td>・ひかり電話オフィス 最大96チャンネル</td> </tr> <tr> <td>②内線 ・多機能電話機 最大192回線</td> <td>②内線 ・多機能電話機 最大192回線</td> </tr> <tr> <td>・一般電話機 最大192回線</td> <td>・一般電話機 最大192回線</td> </tr> <tr> <td>・PHS基地局 最大72回線</td> <td>・PHS基地局 最大72回線</td> </tr> <tr> <td>一想定使用年数*2 7年</td> <td>一想定使用年数*2 7年</td> </tr> </tbody> </table>	【対象製品】	【従来機種】	・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUC	・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX900IP CCUC	・型式 MX-01 CCUC	・型式 MX900IP CCUC	・CO <sub>2</sub> 排出量	・CO <sub>2</sub> 排出量	一製品あたり 10 t-CO <sub>2</sub> e	一製品あたり 12 t-CO <sub>2</sub> e	一1ポート・1年あたり*1 7.4 kg-CO <sub>2</sub> e/ポート・年	一1ポート・1年あたり*1 8.4 kg-CO <sub>2</sub> e/ポート・年	・主な製品仕様	・主な製品仕様	一接続ポート数	一接続ポート数	最大288(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)	最大296(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)	①局線 ・アナログ回線 最大192回線	①局線 ・アナログ回線 最大192回線	・INS64 最大96回線	・INS64 最大96回線	・INS1500 最大24回線	・INS1500 最大12回線	・ひかり電話直取 最大12回線	・ひかり電話オフィス 最大96チャンネル	②内線 ・多機能電話機 最大192回線	②内線 ・多機能電話機 最大192回線	・一般電話機 最大192回線	・一般電話機 最大192回線	・PHS基地局 最大72回線	・PHS基地局 最大72回線	一想定使用年数*2 7年	一想定使用年数*2 7年
【対象製品】	【従来機種】																																		
・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX-01 CCUC	・製品名 日立IP-PBX NETTOWER MX900IP CCUC																																		
・型式 MX-01 CCUC	・型式 MX900IP CCUC																																		
・CO <sub>2</sub> 排出量	・CO <sub>2</sub> 排出量																																		
一製品あたり 10 t-CO <sub>2</sub> e	一製品あたり 12 t-CO <sub>2</sub> e																																		
一1ポート・1年あたり*1 7.4 kg-CO <sub>2</sub> e/ポート・年	一1ポート・1年あたり*1 8.4 kg-CO <sub>2</sub> e/ポート・年																																		
・主な製品仕様	・主な製品仕様																																		
一接続ポート数	一接続ポート数																																		
最大288(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)	最大296(回線種類はそれぞれ以下が使用できる。ただし、排他である。)																																		
①局線 ・アナログ回線 最大192回線	①局線 ・アナログ回線 最大192回線																																		
・INS64 最大96回線	・INS64 最大96回線																																		
・INS1500 最大24回線	・INS1500 最大12回線																																		
・ひかり電話直取 最大12回線	・ひかり電話オフィス 最大96チャンネル																																		
②内線 ・多機能電話機 最大192回線	②内線 ・多機能電話機 最大192回線																																		
・一般電話機 最大192回線	・一般電話機 最大192回線																																		
・PHS基地局 最大72回線	・PHS基地局 最大72回線																																		
一想定使用年数*2 7年	一想定使用年数*2 7年																																		
3.4	備考	測定条件：使用時電力は、エコリーフ「PBXシステム」製品分類別基準 (PCR 番号：BS-01) に基づき測定。但し、冗長回路はなし、接続ポート数MX-01 CCUC：202ポート (アナログ電話機69台、多機能電話機69台、PHS34台、外線30回線)、MX900IP CCUC：207ポート (アナログ電話機70台、多機能電話機70台、PHS36台、外線31回線)																																	

対象製品の特徴 (従来機種比較)  
 ・回路基板のLSI化/高密度化 ・低消費電力LSIの採用 ・増設PKGのサブ基板化(回線数拡張)  
 ・ハード機能のソフト化 ・通話録音機能強化 ・Web電話帳接続機能

\*1 この製品の販売単位のCFP値は、CO<sub>2</sub>排出量(1ポート・1年あたり)に 接続ポート数 [ポート]、及び想定使用年数[年]を乗じ算出されます。  
 \*2 想定使用年数は、製品の保守期間を計算しております。

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	使用・維持管理段階における温室効果ガス排出量が約79%と最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用段階使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	IT機器	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-CI-05
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.04で補完した			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-CI05-15012	6.4	検証合格日	2015年6月30日

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリント コミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	<a href="http://www.cfp-japan.jp">http://www.cfp-japan.jp</a>
7.3	プログラム運営者	一般社団法人産業環境管理協会	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	-
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>